

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒750-8512
 住 所 山口県下関市東大和町1-10-12
 氏 名 株式会社松岡
 代表取締役 松岡隆雄 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 松岡		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島88		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	自社冷蔵倉庫を基盤とする総物流サービス		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,514	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	東京湾岸物流センター
		所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島88
		電話番号	044-280-2271
		FAX番号	044-277-1123
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成29年度 ~ 平成31年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

全社エネルギー管理基本方針
 平成21年3月31日経済産業省告示第57号「エネルギーの使用の合理化に関する基本方針」を受けて、当社は、エネルギー使用の合理化の取り組みを示す[エネルギー管理基本方針]を定め、エネルギー消費原単位の改善を図る。

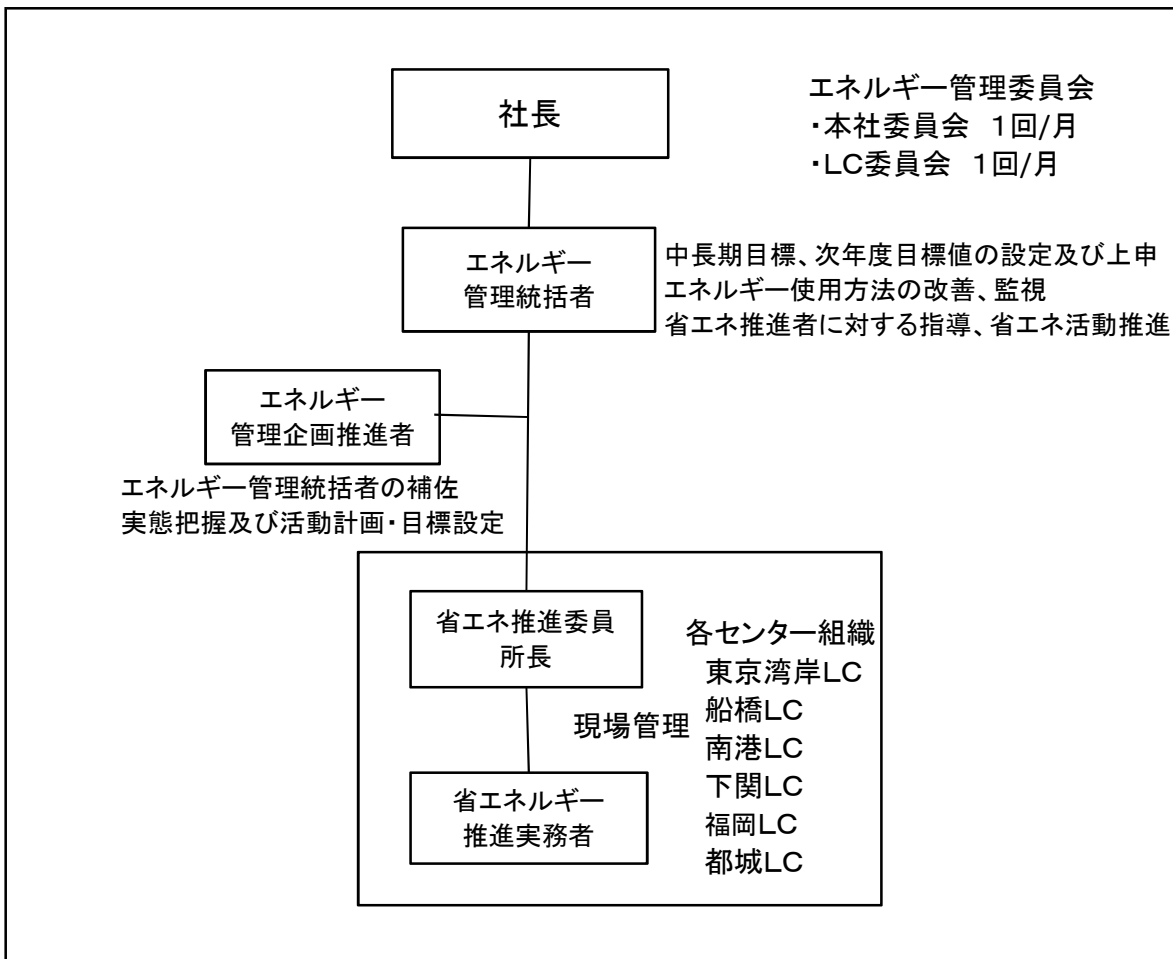
1) [環境理念]・・・企業活動に必要な原材料・諸資材・エネルギー等、限りある貴重な資源を有効に使用するとともに、使用量の削減や再利用に取り組み環境保全と企業活動の両立を図ります。

2) [行動方針] (1) 自然環境の保全と、資源の持続的利用に配慮した活動を推進します。
 (2) 省エネ、省資源、廃棄物の削減、容器包装の減量化等による環境負荷低減活動を通じ、循環型社会形成に向け、継続的に努力します。
 (3) 環境マネジメントの仕組みを構築し、その効果的な運用を目指します。また、環境監査を実施し、環境関連の法規制等の遵守を徹底します。
 (4) 環境教育を通じて、社員一人一人の環境意識の向上を図ります。
 (5) 社会に対して、環境コミュニケーション活動を行うとともに、地域社会との環境に配慮した共生を重視して行きます。

3) [エネルギー管理方針] 自然の恵みを受けて仕事する当社においては、資源を大切にし、持続可能な社会の構築に貢献します。また、有限である化石燃料を由来とするエネルギーについて、その使用の一層の合理化に努めます。

(1) 全社エネルギー管理体制を整備し、総合的なエネルギー管理と省エネルギー活動を強化します。
 (2) エネルギー管理規定及び管理標準を設定し、これに準じた運用管理を行います。
 (3) エネルギーを消費する設備の新設・更新時には、エネルギーの利用効率に優れ、ライン全体でも効率があがるものとします。
 (4) 省エネルギー活動については、ISOマネジメントレビューにて毎月其の成果と課題を分析し、改善につなげます。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成28年度	目標年度	平成31年度
基準排出量	(実) 2,958 (調) 2,988 t-CO ₂	目標排出量	(実) 2,870 t-CO ₂
削減率	(実) 3.0 %	削減量	(実) 88 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	収容能力+取扱い量	単 位	t-CO ₂ /t
基準年度の値	0.01465	目標年度の値	0.01420
削減率	3.1 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	事業分類に従って、活動量は冷蔵倉庫の入在庫数量×1/4と冷蔵倉庫の収容能力の和とする。(単位ton)		

ウ 目標設定に関する考え方

冷却効率のよいアンモニア/CO₂の冷凍設備、外気侵入を防ぐ陽圧設備、全館LED照明など省エネを念頭においた設備設計を行っておりますので、運用面の見直しに注力して温室効果ガス排出量の削減を図ります。

具体的には①照明器具については事務所・現場の昼休み中の消灯、荷主からの依頼状況に伴って出入庫作業の間隔があき、荷役作業に影響を与えない箇所の消灯徹底、②事務所の温度設定を適正化して空調機器の過剰運転を防止、③各庫防熱扉の開放時間を減らして庫内温度の上昇を抑える、④トラックバスからの外気侵入を防ぐことでフロアの温度上昇を抑え、その結果冷凍機の運転時間の短縮を目指します。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

冷凍設備、照明設備を主とする電力使用設備の適切な運用、及び効率よく能力を発揮できるように保全を図り、原単位の前年比1%削減を目指します。

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第1号、第2号、第4号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●照明の消灯 事務所・現場の昼休み中の消灯や荷主からの依頼状況に伴って入出庫作業の間隔があき、荷役作業に影響を与えない箇所の消灯の徹底を図る。 ●事務所空調機の適正な運転 事務所の温度設定を適正化して空調機の過剰運転を防止する。 ●トラックバースからの外気侵入対策の徹底 トラックバースからの外気侵入を抑え、フロアの温度上昇を抑制する。 ●防熱扉の開放時間を減らす 各庫防熱扉の開放時間を減らして、庫内温度の上昇を抑える。
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第3号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー等の利用に係る考え方

屋上に設置している太陽光パネルにより発電し、社外へ電力の供給を行っております。(発電出力 750kw) 今後も再生可能エネルギー源の利用を検討します。

イ 再生可能エネルギー等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
太陽光発電	(発電出力750kw 交流三相3線式)	平成28年	設置済

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- 全トラックバースにエアシェルターを装備し、気密性の向上を図る。(平成25年)
- 全館LED照明の導入(平成25年)
- 移動ラック閉鎖部を消灯する連動照明採用(平成25年)
- 移動ラック駆動電気回路へのACリアクトル装備に伴う総合力率改善(平成25年)
- 垂直搬送機のバランスウエイト調整することで出力を低減させた駆動機構採用(平成25年)
- 庫別集中温度計測・管理システムによる細かい温度設定・管理(平成25年)

6 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

○太陽光発電にて社外へ電力供給を行っております。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- 冷凍設備に自然冷媒（アンモニア/炭酸ガス）を使用して、環境負荷を軽減。
- 廃棄物の分別をすすめ、リサイクル業者と協力してごみの減量化を行っております。
（ダンボール・紙類、プラスチック類）

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	2,958	t-CO ₂
(調)	2,988	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東京湾岸物流センター	川崎市川崎区東扇島 8 8	4721	冷蔵倉庫業	2,958 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--